

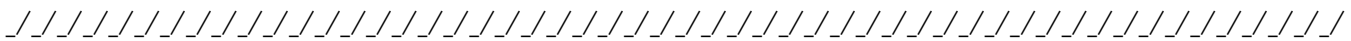
2006/7/10

《「産業保健おおいた」メルマガ版》

第 19 号



○ INDEX



* TOPICS

平成 18 年度「安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者に対する厚生労働大臣表彰」の受賞者について

* 今月の Key Word【熱中症】

* 熱中症死亡災害発生状況(3 事例)(平成 17 年)

* 新着情報

新着雑誌 & パンフレットのご案内

* 研修・セミナーのご案内(7 月・8 月)

○ TOPICS

■平成 18 年度

「安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者に対する厚生労働大臣表彰」の受賞者について

厚生労働省におきましては、安全衛生成績が極めて高い水準に達し他の模範と認められる優良事業場又は企業、長年にわたり労働安全衛生に尽くし安全衛生水準の向上発展に多大の貢献をした功労者等に対して、厚生労働大臣表彰を行っています。

本年度においては、30事業場及び50名に厚生労働大臣表彰を行います。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/06/h0626-2.html> (厚生労働省)

○ 今月の Key Word【熱中症】

■熱中症による死亡災害発生状況(平成 17 年分)

1 熱中症による死亡者数の推移(平成8年～17年分)

・過去10年間の熱中症による死亡者数の推移を見ると、平成11年からは毎年20名前後の死亡災害が発生している。

2 月別被災状況(平成15年～17年分)

・例年7月および8月に集中して発生している。

平成17年においては、9月に入っても5件発生しており、注意を要する。

3 時間帯別被災状況(平成15年～17年分)

・午後2時から午後4時台の間に多発している。

4 被災者の年代別被災状況(平成15年～17年分)

・30代～50代が突出している。

5 業種別被災状況(平成15年～17年分)

・建設業が圧倒的に多い。建設業以外の業種であっても、特に製造業で例年死亡災害が発生している。

6 作業日数別被災状況(平成15年～17年分)

・作業開始から数日の間での発生がほとんどである。

特に高温環境下での作業に順応していない初日、2日目に多発している。

7 その他

・熱中症と疑われる症状が現れているのに、本人及び周囲の作業者に熱中症の認識がない。対応が不十分である。

・適切な休憩設備が確保されていない。

・塩分あるいは塩分を含んだ飲料等が準備されていない。

・作業者の健康状態を十分に把握していないまま、作業を行わせた。

○ 熱中症死亡災害発生状況(3事例)(平成17年)

《事例 1》

【業種】

建設業

【発生月】

7月

【被災者の年齢】

30歳代

【発生時の気温・湿度】

気温:32℃、湿度:68%

【発生状況】

災害発生当日、住宅新築工事現場で、被災者は午前8時過ぎからスコップで埋め戻し作業に従事していた。昼食休憩後、ポーチ付近でスコップを使用して採石作業をしていたが、午後1時30分頃、被災者は、ふらついて倒れそうになったため休憩したが、午後2時頃容態が急変し、病院に搬送されたが、午後3時、死亡が確認されたもの。

【発生原因等】

- ・高温環境下での労働
- ・吸湿性・通気性の悪い着衣
- ・健康状態把握不十分
- ・適切な休憩場所の不備
- ・労働衛生教育不十分

《事例 2》

【業種】

製造業

【発生月】

7月

【被災者の年齢】

30歳代

【発生時の気温・湿度】

気温:31℃、湿度:60%

【発生状況】

災害発生当日、被災者は午前8時に勤務を開始し、屋外作業場で、2人で日干しされた角材を段積みする作業を行った。午前10時の休憩に入るなり、座り込んでいた被災者はふらふら歩き出したが、歩行ができなくなり、病院に搬送されたが、同日死亡したものの。

【発生原因等】

- ・高温環境下での労働
- ・健康状態把握不十分
- ・労働衛生教育不十分
- ・熱中症予防対策の知識不足

《事例 3》

【業種】

運送業

【発生月】

8月

【被災者の年齢】

30歳代

【発生時の気温・湿度】

屋外気温:35℃、屋外湿度:52%

【発生状況】

災害発生当日、被災者は親事業場において、午前7時45分頃からリフターを使用してパレットを回収し、回収したパレットをコンベヤーに移し変える作業を行っていた。

午後4時25分頃、工場内で様子がおかしい状態で見つけたところを発見され、その後病院に搬送されたが、同日死亡したものの。

【発生原因等】

- ・労働衛生教育不十分
- ・健康状態把握不十分

平成18年5月24日付け 基安労発第0524001号(厚生労働省)より

大分産業保健推進センターホームページ(<http://www.oita-sanpo.jp/>)「お知らせ」欄の「熱中症」からもご覧いただけます。

○ 新着情報

☆ 新着雑誌 & パンフレット ☆

■産業保健おおいた 夏号

■産業保健21 45号

■安全と健康/7月号 特集◎万全ですか？企業の地震防災対策 ～BCPを踏まえて

■安全衛生のひろば/7月号 特集◎わが職場の安全衛生の現場力 ～いかに伝え、強くするか

■へるすあっぷ21/No.261 特集◎意識を変える 行動を変える 効果を出す保健指導

■勤労者医療 2006 SUMMER (パンフレット:独立行政法人労働者健康福祉機構)

○ 研修・セミナーのご案内(7月・8月)

★衛生管理者等研修

会場:大分産業保健推進センター会議室

時間:14:00～16:00

▽7月14日(金)

健康管理のABC ―診結果を生かすために― 谷口 邦子(基幹相談員)

▽7月20日(木)

作業環境測定結果の活用 ―リスクアセスメントに用いる環境測定及び評価の手法―

田吹 光司郎(基幹相談員)

▼8月7日(月)

職場のメンタルヘルス ―セルフケア、ラインによるケア、傾聴― 江崎 フサ子(基幹相談員)

▼8月23日(水)

高血圧をどう考える 木下 昭生(基幹相談員)

▼8月24日(木)

職場巡視 ―問題発見と解決― 神代 雅晴(外部講師)

★産業医研修

時間:18:30～20:30

▽7月10日(月)

職場のメンタルヘルス ―事例への対応― 原尻 慎一郎(特別相談員)

会場:大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」2階 大講義室

☆基礎/後期2 生涯/専門2

▽7月31日(月)

職場における効果的な喫煙対策の進め方 青木 一雄(基幹相談員)

会場:大分県中部地域産業保健センター(別府医師会)

☆基礎/後期2 生涯/専門2

▼8月10日(木)

事務所作業環境管理のポイント ―簡易測定器を用いて― 《実習》 田口 信康(基幹相談員)

会場:大分産業保健推進センター

☆基礎/実地2 生涯/実地2

※ 8月30日(水)に行われる予定でした

第8回産業医研修 「アスベストについて」 は中止になりました。御了承下さい。

★カウンセリング研修

会場:大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」2階 大会議室

時間:18:30~20:30

▽7月11日(火)

事例検討 佐用 槇子(基幹相談員)・渡嘉敷新典(特別相談員)

▼8月8日(火)

積極的傾聴 ―グループワーク― 佐用 槇子(基幹相談員)

※ 7月から9月までの間に行われるカウンセリング研修の会場が、大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」へ変更になりました。

★AED体験研修(自動対外式除細動器)

会場:大分産業保健推進センター会議室

時間:14:00~16:00

7月25日(火)

▽大切な命を救うためにあなたにもできることがあります ―救命の連鎖とAED―

油布 文枝(基幹相談員)

◎いずれの研修もホームページからお申し込みいただけます。

↓↓↓

http://www.oita-sanpo.jp/H18_training/top.htm

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

メールアドレスの変更、配信停止、ご意見・ご感想は、info@oita-sanpo.jp までお願いします。

皆様のご意見をお待ちいたしております。

..今月も最後までお読みいただきまして、ありがとうございました..